2020 年 10 月 30 日
原子力エネルギー協議会

ATENA フォーラム 2021（案）

1. 日時　：2021 年 2 月 18 日（木）16：00～18：00

2. 場所　：大手町三井ホール（経団連会館の南隣）

3. 目的　：ATENA の活動報告を行うとともに、幅広いステークホルダーからのご意見をいただくことで自らの活動の改善に繋げる。

4. フォーラム参加者：
ATENA 会員、オブザーバ（原子力事業者、メーカ、関係団体）、政府（経済産業省、原子力規制委員会（規制庁）他）、有識者、海外（NEI、EDF、OECD）、原子力立地自治体、その他関係団体、一般公募者
ただし、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策により、会場参加は、定員の 1/3 程度（200 名程度）にとどめ、ライブ配信（YouTube 等による限定配信による視聴）を実施

5. プログラム案：

時刻	時間（分）	プログラム
16:00～16:05	5	開会挨拶
16:05～16:15	10	来賓挨拶 （原子力規制委員会　更田委員長からのご挨拶を希望）
16:15～16:35	20	ATENA 活動報告
16:35～16:55	20	基調講演 （海外有識者：ビデオレター形式による）
16:55～17:55	60	パネルディスカッション
17:55～18:00	5	閉会挨拶

18:05～19:10	65	レセプション（実施可否を検討中）

ATENA フォーラム 2021　パネルディスカッションについて（案）

ATENA フォーラム 2021 では、以下の内容のパネルディスカッションを計画している。

【テーマ案：安全性向上に向けた諸機関の活動　～現状と課題～　】

＜議論のポイント＞

〇安全性向上をたゆまず進めていくためには、規制機関、原子力産業界が「安全性向上」という同じ目標に向かって相互にリスペクトしながら、安全上重要なものにリソースを優先的に投入して、それぞれの役割を果たすことが重要である。加えて、原子力産業界は、規制の枠にとどまらず、自主的かつ継続的に安全性向上に取り組むことが不可欠である。

諸機関の活動の現状を踏まえ、今後の課題は何か、自由討議を行う。

＜モデレータ＞

・遠藤　典子　様（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授）

＜パネリスト案＞

・原子力規制委員会（できれば、更田委員長のご出席を希望）

・学識経験者　2 名程度

・原子力事業者

・原子力安全推進協会

・原子力エネルギー協議会（ATENA）　他

以　上